６蔵工高第１５６５号
令和７年３月２１日

令和６年度　東京都立蔵前工科高等学校　定時制課程　学校経営報告

校長　古藤　一弘

本校は、選択授業及び資格取得など、生徒の興味・関心を引き出す教育活動を通じて、基礎・基本を徹底し、生徒一人一人の個性を伸ばし、工業に関する専門的な知識を確実に身に付けた社会の一員として自覚があり、様々な分野に高い探究心をもった人材の育成を目指す。

１　今年度の取組状況と自己評価

（１）学習指導

①　技術の高度化・多様化に伴い、チームで協働して課題に向き合う心構えを育てることができた。

②　ものづくりを通して基礎・基本の定着や学習意欲の向上を図り、資格取得を積極的に支援することで、高所作業車運転特別教育講習修了者６名、計算技術検定３級２名、２級管工事技術検定試験２級技士補１名、第２種電気工事士１名の合格者を出すことができた。引き続き積極的に資格取得に挑戦する意欲の醸成を図る。

③　「課題研究」の発表会を通し、自発性、学習への成就感・達成感を体得させるとともに、課題解決能力及びプレゼンテーション能力を高めながら学ぶ喜びや学習意欲の向上を図ることができた。

④　学校外における学修の単位認定を活用し、学ぶ意欲の向上に繋げることができた。

⑤　三修制について、希望する生徒が目的意識や見通しが明確にもてるように、規定の見直しや説明会、事前指導等の改善を行ったが、３年連続で希望者が出なかった。

⑥　ＩＣＴの活用を強化し、オンライン会議など ICT 化の促進を図るとともに、環境学習、国際理解教育、日本の伝統文化を学びながら、社会の変化に対応できる環境を整えることができた。

⑦　図書館の有効活用を図っているが、読書活動の成果とまでは、至っていない。

⑧　教科「人間と社会」の学習を通して、社会貢献の精神を育てるように努めた。

⑨　自ら考え、判断し、行動できる高い資質をもった主権者教育の推進を行った。

（２）進路指導

①　１年生からの計画的・段階的なキャリア教育を推進の結果、卒業生４名の進路状況は、１名が進学、３名が就職で、３年連続進路決定率１００％を達成することができた。次年度も引き続き進路決定率１００％を目指す。

②　進路指導部と担任が連携し、求人情報・進路情報を生徒に提供することができた。

③　保護者・地域・企業等関係機関と連携し、キャリア教育や奉仕活動を充実させるとともに、望ましい勤労観・職業観を育成することができた。

④　就職・進学を希望する生徒に、離職・退学させないための指導を行うことができた。

⑤　外部講師を活用した進路行事の充実に努めることができた。

（３）生活指導

①　多様な背景をもつ生徒に対して、スクールカウンセラーや外部機関を活用し、組織的に対応することで、学校生活の充実及び基本的生活習慣の徹底を図った。

②　人権尊重教育を行い、自他の生命の大切さと相互の友愛の心を育て「品格」と「誇り」を備えた態度・行動ができるように指導を行うことで、徐々に変容が見えている。

③　生徒一人一人に対して、挨拶・声掛けを行い、活気のある雰囲気づくりに努めた。

④　面談期間を年間行事計画に位置付け、生徒理解に役立てることができた。

⑤　命の大切さ・様々な困難・ストレスへの対処・心の健康・自殺防止に関わる教育を行うことで、見守りが必要な生徒に寄り添うことができた。

⑥　都立学校版コンディションレポートを運用し、生徒の心の状態を知ることで、早期に声掛けを行い生徒の不安解消に努めた。

（４）特別活動・部活動

①　学校行事をはじめ、各種委員会活動をとおして自主性、協調性を促進させた。

②　部活動加入率６３％と前年度より２３ポイント下落したが、活動内容は充実した。

③　「学校 2020 レガシー」として、「ボランティアマインド」「障害者理解」「豊かな国際感覚」を位置づけ、豊かな人間性と友愛の心を育てる教育を推進した。

④　関係機関や地域と連携し、奉仕体験活動やボランティア活動を充実させ、社会貢献と豊かな心を育む教育を行った。

⑤　浅草消防署と地域との連携による自衛消防訓練を実施した。安全講話や通報訓練・スタンドパイプによる消火訓練を生徒全員が体験した。

（５）健康づくり

①　セーフティ教室・交通安全教室を実施し、犯罪被害防止や交通事故防止に努めた。

②　学年と生活指導部が連携し、在校期間中の学校保健計画を策定し実践することで、心身の健康及び体力の保持増進を図った。

③　生徒の事故防止、事故対応の迅速対応等、必要に応じた校内危機管理体制を進めた。

（６）募集・広報活動

①　一日体験入学、学校説明会、授業公開などに加え、ホームページを充実させ、本校の特色ある教育活動を都民に発信を行った。

②　合同説明会・匠の技の祭典・ドリームフェスタ等に参加することで、幅広い広報活動を行うことができた。

（７）学校経営・組織体制

①　新学習指導要領等に基づき、特色ある教育課程を編成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、教員相互の授業参観を促進するなど開かれた授業の推進を図った。また、指導内容の工夫・改善を図り教育のプロフェッショナルを目指す。

②　自律経営推進予算を活用し、学校の特色化・募集対策を行っていたが、令和１０年度をもって閉課程が決まった。その他、ペーパーレス化等に取組ＳＤＧｓを推進し、公費、私費会計の適正な運用に心掛けた。

③　主幹教諭を中心として、各分掌組織の機能向上や学校経営計画の実現に向け、企画

調整会議、職員会議、各種委員会、プロジェクトチームの円滑な運営を促進した。

④　個人情報の保護に関する管理体制の徹底を図った。

⑤　特別支援教育コーディネーターを中心に関係機関等と連携し、組織的な特別支援教育の推進を心掛けた。

⑥　「学校における働き方改革プラン」に基づいた、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現に取組むことで、時間外勤務６０時間を超える教職員は１名延べ１０人に留まった。

⑦　本校の施設・設備、人材、予算をさらに効果的に活用し、教育の質の向上に努めた。

（８）経営企画室

①　学校経営計画実現に向け、経営企画室の業務の充実を図り、迅速な対応を心掛けた。

②　自律経営推進予算は、計画的、効果的な執行を行った。

③　安全・衛生、教育環境の充実の観点から施設・設備の老朽化に対応した修繕・改善に心掛けた。

２　成果と課題

学校評価アンケートでは、生徒、保護者、教職員の９割以上が（あてはまる・ややあてはまる）と肯定的であった回答（全２４項目）の１１項目を示す。

①学校生活は充実していると思う

②本校での学習は将来に役立つと思う

③毎日の学習で、工業科や普通科の基礎的な知識・技能を身に付けられると思う

④授業はわかりやすいと思う

⑤資格取得・各種検定の取組が充実していると思う

⑥ルール・マナーに関する教育が、積極的に行われていると思う

⑦体罰や暴力をなくす取組が積極的に行われていると思う

⑧本校の先生方は、生徒の話を親身に聞いてくれると思う

⑨薬物乱用防止・セーフティ教室など、健康・安全に関する教育が積極的に行われていると思う

⑩ＳＮＳ等での悪質なサイトへの注意喚起や指導が行われていると思う

⑪学校行事が楽しく充実していると思う

同様に、生徒、保護者、教職員の８割以上が（あてはまる・ややあてはまる）と肯定的であった回答２項目を示す。

⑫将来の職業などについて考える機会が多いと思う

⑬生徒会活動が活発だと思う

学校評価アンケートにおいて、全２４の評価項目の内、１３項目で肯定的な回答が得られたが、生徒、保護者が否定的な項目として、次の２項目が挙げられている。

①読書活動がさかんで、図書館の利用者も多いと思う

②生徒が地域行事に参加するなど、地域との交流を活発に行っていると思う

上記の２項目については、毎年の課題であり、図書館の利用については、週２日の休館日があり、利用形態に課題がある。図書館職員の勤務の見直しが必要となるため長年改善されていない状況である。次に、地域行事への参加については、活動時間が昼間となるため、定時制の授業時間帯と合わず、参加が難しい状況であると考える。